

2 か月に 1 回開催される本誌編集委員会は、2018 年から医学書院会議室と Web 会議のハイブリッド形式で開催されています。当初は、編集委員が現地に一堂に会することによって生まれる熱気や温度感が感じられなくなることによって不安や物足りなさを感じましたが、慣れてくると、移動しなくて済む利便性はもちろんのこと、電子資料を共有できたり、クリアな音声と適度な距離感から討議が活発になったりと、Web 会議ならではの利点にも気づくようになりました。

コロナ禍の長期化により、学会や研究会も Web 化が急激に進んでいます。お盆に開催された第 120 回日本外科学会定期学術集会では、管理された遠隔地からご献体を用いた手術手技研修 (cadaver surgical training : CST) に参加する「remote CST」が日本外科学会 CST 推進委員会公認で初めて実施され、その概要が Web 配信されました。昨年、日本外科学会には遠隔手術実施推進委員会が設置され、遠隔手術のガイドライン策定に向けた活動が始まっています。本年 8 月には、本邦初の実用型内視鏡下手術用ロボット hinotori™ サージカルロボットシステム (メディカロイド社) が泌尿器科領域で PMDA 承認を取得し、国産ロボットを用いた遠隔手術プラットフォームの開発も急ピッチで進んでいます。Web 配信されるスライドや動画、音声の著作権保護、遠隔手術トレーニングにおけるご献体に対する礼意、遠隔手術における患者個人情報保護や責任の所在など解決すべき課題も多々ありますが、激変する時代の流れとテクノロジーの進化に適応しつつ、本誌とともども新しい外科医療の構築に微力ながら貢献したいと考えています。

(須田康一)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 25 巻 第 6 号) 2020 年 11 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 定価: 本体 2,800 円 + 税

2020 年 年間購読料: 16,380 円 + 税 * 学会員は学会ホームページから閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 渡邊昌彦)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当: 池田, 平澤, 渡部)

http://www.jses.or.jp

発売: (株)医学書院 (代表: 金原 俊) (本誌担当: 水野, 安部)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

電子出版コード 260F2600025006000000

- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は日本内視鏡外科学会が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY** (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●症例報告

当院における腹腔鏡補助下経皮内視鏡的胃瘻造設術の経験横山靖彦・他 松江生協病院外科
独立して合流する右後区域胆管枝と胆嚢管との合流部に発生した結石に対する

腹腔鏡下手術の 1 例登 千穂子・他 大阪市立十三市民病院外科
成人 Nuck 管水腫に対する腹腔鏡下手術の経験松村直樹・他 済生会前橋病院外科
妊娠出産後の腹直筋離開に対して腹腔鏡下修復術を行った 1 例中川 裕・他 琉球大学医学部附属病院第一外科
内視鏡下 transversus abdominis muscle release (eTEP-TAR) 法を用いて

腹壁癒痕ヘルニア修復を行った 1 例今村清隆・他 手稲溪仁会病院外科
脾破裂をきたした悪性リンパ腫に対して用手補助腹腔鏡下脾臓摘出術を

施行した 1 例龍 知記・他 国立病院機構九州医療センター肝胆脾外科
腸回転異常を伴う上行結腸癌に対し完全腹腔鏡下手術を施行

した 1 例高城翔太郎・他 久留米大学外科学講座小児外科部門
直腸癌腹腔鏡下側方リンパ節郭清後の露出血管による腸閉塞の 1 例土井寛文・他 広島記念病院外科
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術後のメッシュ感染に対して腹腔鏡下メッシュ除去術を

施行した 1 例山崎僚人・他 東京都立松沢病院外科
腹腔鏡下大腸全摘術を施行した慢性特発性大腸偽性腸閉塞症の 1 例原 鐵洋・他 広島市立安佐市民病院外科
腹腔鏡下に修復し得た鼠径ヘルニア偽還納の 1 例上畑恭平・他 倉敷中央病院外科

●手術手技

センハンス支援下大腸癌手術の経験近藤宏佳・他 埼玉医科大学国際医療センター消化器外科
誌面の都合により変更がある場合があります。あらかじめご諒承ください。